









Miani ミアニー








イタリア北東部の州で、東はスロヴェニア、北はオーストリアに国境を接する。特にその東端部の丘陵地帯となるコッリオ、およびコッリ・オリエンターリ地区は「イタリアの現代白ワインの聖地」とさえ呼ばれる。コッリオ周辺の土壌は古代の海底に由来し、ポンカとよばれる泥灰土と砂岩が混じる柔らかな石灰質。この州は個性ある土着品種の宝庫でもあり、白はフリウラーノ、リボッラ・ジャッラ、ピコリット、ヴィトフスカ、赤はレフォスコ、スキオペッティーノなどが中でも重要。フリウラーノはかつてトカイ・フリウラーノと呼ばれたが、DNA上はトカイとは全く無関係で、南仏のソーヴィニオン・ヴェールがヴェネト経由で19世紀中期に持ち込まれたという説が現在有力である。ちなみにコッリオの人々は1891年に「世界葡萄生産者会議・第1回」がゴリツィアで開かれた史実を誇る（第2回はブルゴーニュ）。「当時ここは偉大なワイン産地としてヨーロッパ中に認識されていたのだ」と彼らは主張する。

平均収穫量8.4hl/haという、世界的にも類のない低収穫を断行する生産者。この数字は、ブルゴーニュ特級の法定上限35hl/haや、ドメヌ・ルロワの平均15hl/haさえ下回る。さらに驚くべきは、その収量ゆえの凝縮感とは裏腹な、飲み口の良さ。しっかりとした飲み応えなのに、全く身体に吃不えないクリアな余韻が、白にも赤にも通底する。自社瓶詰は1984年から。当時はメカニックだったエンツォ・ポントーニが父を手助けしていたが1990年、父の他界と共にワイン造りに専念。非常に控えめな人物で、社交を嫌い、ワインフェアや試飲会には一切出席せず、畑仕事に専念する。畑は現在計22ha。樹齢は4年から70年まで幅広く、最古木はリボッラ・ジャッラとフリウラーノとなる。赤、白とも温度管理なしで発酵。葡萄の糖度が極めて高いため、赤は野生酵母では完全に発酵が終了せず、培養酵母を使用する。平均生産量は、最少のレフォスコが年600本、最多のメルロとソーヴィニオンでも、各2,000本限りである。

	○Friuli Colli Orientali - Bianco フリウーリ・コッリ・オリエンターリ ビアンコ				備考	
	畑	品種：フリウラーノ70%、リボッラ・ジャッラ30% 場所：70-120m 土壌：泥灰土（ポンカ）	醸造	木製樽で醗酵 木製樽で熟成		
	○Friuli Colli Orientali - Friulano フリウーリ・コッリ・オリエンターリ フリウラーノ				備考	
	畑	品種：フリウラーノ100% 場所：70-120m 土壌：泥灰土（ポンカ）	醸造	木製樽で醗酵 木製樽で熟成		
	○Friuli Colli Orientali - Friulano - BURI フリウーリ・コッリ・オリエンターリ フリウラーノ ブーリ				備考	ブーリはワイナリー所在地であるブットリオの古い呼び名で、ブットリオの複数の区画から収穫した古樹のブドウを用いて醸造している。
	畑	品種：フリウラーノ100% 植樹：1940年代 場所：70-120m 土壌：泥灰土（ポンカ）	醸造	木製樽で醗酵 木製樽で熟成		
	○Friuli Colli Orientali - Friulano - FILIP フリウーリ・コッリ・オリエンターリ フリウラーノ フィリップ				備考	ワイナリーのあるブットリオの東部に隣接する、ロザッツォのエリアの畑から、樹齢70年以上の古樹の2区画のブドウを使用。ブットリオに比べて風通しが良く、収穫時期はわずかに数日早い。
	畑	品種：フリウラーノ100% 植樹：1940年代 場所：70-120m 土壌：泥灰土（ポンカ）	醸造	木製樽で醗酵 木製樽で熟成		
	○Friuli Colli Orientali - Sauvignon フリウーリ・コッリ・オリエンターリ ソーヴィニオン				備考	
	畑	品種：ソーヴィニオン・ブラン100% 場所：70-120m 土壌：泥灰土（ポンカ）	醸造	木製樽で醗酵 木製樽で熟成		

	○Friuli Colli Orientali - Sauvignon - Saurint フリウーリ・コッリ・オリエンターリ ソーヴィニヨン ソロン			備考	
	畑	品種：ソーヴィニヨン・ブラン100% 場所：70-120m 土壌：泥灰土（ボンカ）	醸造		
	○Friuli Colli Orientali - Sauvignon - Zitellet フリウーリ・コッリ・オリエンターリ ソーヴィニヨン ジテッレ			備考	Zitelletは海拔100mのブットリオにある約4ヘクタールの区画。 素晴らしい日当たりと土壌に恵まれた、比較的若い区画。 ワインにミネラルを与えるこの地域特有のボンカ土壌。
	畑	品種：ソーヴィニヨン・ブラン100% 植樹：2000年代 場所：70-120m 土壌：泥灰土（ボンカ）	醸造		
	○Friuli Colli Orientali - Chardonnay フリウーリ・コッリ・オリエンターリ シャルドネ			備考	
	畑	品種：シャルドネ100% 場所：70-120m 土壌：泥灰土（ボンカ）	醸造		
	○Friuli Colli Orientali - Chardonnay - Baracca フリウーリ・コッリ・オリエンターリ シャルドネ バラッカ			備考	Baraccaはブットリオ周辺の小さな区画で、シャルドネを栽培。樹齢約70年のとても古いブドウ樹により、非常にバランスがとれた味わいに仕上がる。 収穫量は非常に少なく、約2バリック樽、約600本のみ生産。
	畑	品種：シャルドネ100% 場所：70-120m 土壌：泥灰土（ボンカ）	醸造		
	○Friuli Colli Orientali - Chardonnay - Zitellet フリウーリ・コッリ・オリエンターリ シャルドネ ジテッレ			備考	Zitelletは海拔約100mのブットリオにある約4ヘクタールの畑。 素晴らしい日当たりと土壌に恵まれた、比較的若い区画。 ワインにミネラルを与えるこの地域特有のボンカ土壌。
	畑	品種：シャルドネ100% 植樹：2000年代 場所：70-120m 土壌：泥灰土（ボンカ）	醸造		
	○Friuli Colli Orientali - Ribolla Gialla - Petrarin フリウーリ・コッリ・オリエンターリ リボッラ・ジャッラ ペットリン			備考	
	畑	品種：リボッラ・ジャッラ100% 場所：70-120m 土壌：泥灰土（ボンカ）	醸造		
	○Friuli Colli Orientali - Malvasia フリウーリ・コッリ・オリエンターリ マルヴァジア			備考	
	畑	品種：マルヴァジア100% 場所：70-120m 土壌：泥灰土（ボンカ）	醸造		
	○Friuli Colli Orientali - Malvasia - La Mont di Zuc フリウーリ・コッリ・オリエンターリ マルヴァジア ラ・モント・ディ・ズック			備考	La Mont di Zucはスロヴェニアとの国境、コロノ・ディ・ロザツォの近くのグラモリアーノの畑。 アルベレッロ仕立てにより、ブドウは直射日光から守られ、その結果、繊細なアロマを保つことができる。
	畑	品種：マルヴァジア 植樹：2000年代 場所：250m	醸造		

	●Friuli Colli Orientali - Rosso フリウーリ・コッリ・オリエンターリ ロッソ			備考	
	畑	品種：レフォスコとメルロ主体 場所：70-120m 土壌：泥灰土（ボンカ）	醸造		
	●Friuli Colli Orientali - Merlot フリウーリ・コッリ・オリエンターリ メルロ			備考	
	畑	品種：メルロ 場所：70-120m 土壌：泥灰土（ボンカ）	醸造		
	●Friuli Colli Orientali - Refosco フリウーリ・コッリ・オリエンターリ レフォスコ			備考	ブットリオとサン・ジョヴァンニ・アル・ナディーゾネのレフォスコから作られる。
	畑	品種：レフォスコ 場所：70-120m 土壌：泥灰土（ボンカ）	醸造		
	●Friuli Colli Orientali - Refosco - Cossut フリウーリ・コッリ・オリエンターリ レフォスコ コズット			備考	Cossutはブットリオの中でも丘の先端にある区画で、そのため風通しが良く、レフォスコの成熟に適している。ワインにミネラルを与えるこの地域特有のボンカ土壌。
	畑	品種：レフォスコ100% 植樹：1999年 場所：70-120m 土壌：泥灰土（ボンカ）	醸造		
	●Friuli Colli Orientali - Refosco - La Mont di Zuc フリウーリ・コッリ・オリエンターリ レフォスコ ラ・mont・ディ・ズック			備考	La Mont di Zucはスロヴェニアとの国境、コルノ・ディ・ロザツツォの近くのグラモリアーノの畑。グイヨー仕立て。色づきのはじまる8月ごろに、平均して20%ほどの間引きを行う。同じ区画のマルヴァジアと同時期に植樹されたが、満足のいく味わいに仕上がるまで市場には出さず、2019VTが初リリースとなった。
	畑	品種：レフォスコ100% 植樹：2000年代 場所：250m	醸造		